

備前市事務事業評価表

事務事業名	教育委員会事務局運営事業（学校教育課）		コード	06-01-18-03
			担当課・係	学校教育課
			担当者	三村 実
			電話	64-1840
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効果的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的 (何のために)	市内の学校の児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理に努める。また、教育委員会事務局職員の諸活動のための旅費を支出する。
対象 (誰・何を対象に)	市内各学校の児童・生徒及び教職員並びに教育委員会事務局職員
内容	児童生徒及び教職員の健康診断委託料、教育委員会事務局職員の旅費、消耗品費等

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
児童生徒健康診断委託件数	7,220	件	7,150	件
教職員健康診断委託件数	1,245	件	916	件
教職員部 X 線検査受診者数	296	人	202	人
教職員部 X 線検査受診者数	136	人	102	人

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,218	間接補助金等		直接事業費	4,223	間接補助金等	
	人件費	1,415	受益者負担		人件費	1,460	受益者負担	
	合計	7,633	市債		合計	5,683	市債	

必要人員	0.15 人		0.15 人	
結果指標名	児童生徒健康診断委託件数	児童生徒健康診断委託件数		
結果指標量	7,220	7,150		
単位	件	件		
対前年比	-	99.03%	0.00%	
活動にかかるコスト	3,153,000 円	2,553,000 円		
単位当たりコスト	437 円	357 円		
結果指標名	教職員健康診断委託件数	教職員健康診断委託件数		
結果指標量	1,245	916		
単位	件	件		
対前年比	-	73.57%	0.00%	
活動にかかるコスト	2,399,000 円	1,268,000 円		
単位当たりコスト	1,927 円	1,385 円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、有所見者に改善のための指導を行う。		
成果指標名	教職員の有所見者比率(%)	式又は説明	有所見者延べ数/延べ受検者数 × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	13	12	
対前年比	-	92.31%	0.00%
到達目標値	10	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価 < A ~ E > A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	健康診断については基本的に全児童生徒・全教職員を対象としており、関係法令に基づく事業であるため、目的や対象は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A ~ E > B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	児童生徒の健康診断については実施時期が早い場合随意契約としているが、教職員の健康診断については入札を実施した。教職員の健康診断については、人間ドックの受診希望者が年々増える傾向にあり、市費の持ち出しが減ってきている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 < A ~ E > B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	児童生徒や教職員の健康管理に関わる内容であり、積極的に事業を進めていきたいと考えている。有所見者への事後の指導についても積極的にやっていく必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明 昨年と同様に、事業を準備しているが、対象となる児童生徒数や教職員数が変わり、健康診断の内容も年によって若干異なるため、年度ごとの比較はあまり意味がない。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	

目標値	結果指標量	結果指標量
	結果指標量	10

総合評価		評価区分 < A ~ E > B
本市の教育を支える事業であり、すべての教育活動の根幹に関わるものである。必要なことを必要なだけ行うので、コストや効率化といった観点からは合わない事業である。しかし、事務の効率化をめざして今後も努力を必要とする。		

平成20年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	教職員の場合、人間ドックを受診する予定のものについて、X線検査の課題が残る。	未定	結核に関わる検診については早期に対応する方が感染拡大の防止に効果的である。